

# 令和6年度 学校努力点（案）

## Ⅰ 令和6年度 名古屋市学校教育「学びの方針」

学習指導要領、「ナゴヤ子ども応援大綱」及び「名古屋市教育振興基本計画」を受け、令和6年度名古屋市学校教育「学びの方針」が次のように定められた。

### ナゴヤ学びのコンパス（学びの方針）

#### 実現したい市民の姿

自由な市民として互いに認め合い、共に社会を創造する

#### 目指したい子どもの姿

ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける

#### 重視したい学びの姿

- ・ 自分に合ったペースや方法で学ぶ
- ・ 多様な人と学び合う
- ・ 夢中で探究する

#### どの学校園でも大人が大切にしたいこと

子どもは有能な学び手であると理解し、子どもの学びに伴走する

- ・ 子ども一人一人の思いや願いを尊重する
- ・ 子どもと対話する
- ・ 子どもの自分なりのチャレンジを大事にする

### 【留意点】

- (1) 子どもの学習の習得状況等や学校・地域の実態に即して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けて創意工夫ある教育活動を展開すること。
- (2) 全教職員が、指導と評価の一体化を図るために、一人一人の学習状況に応じた具体的な指導計画や方法、手だてを考え、適切な評価活動を行いながら推進すること。
- (3) 子どもの発達段階に応じて、努力点を自らの目標としてとらえさせるように工夫するとともに、子どもの学びに伴走し「子ども中心の学び」を推進すること。
- (4) 教職員自らが研修を深めたり、校内研修を充実させたりして、指導力の向上や指導方法の改善を図り、教育活動のより一層の充実を目指すこと。
- (5) 保護者や地域に、努力点設定の趣旨と推進の方法及び成果を具体的に示し、学校教育への理解と参加・協力が得られるよう学校評価や学校評議員制等を活用しながら推進すること。

## 2 浄心中学校 校訓

健康で明るく 勤勉で楽しく 聡明で正しく

## 3 令和6年度 浄心中学校努力点

ともに笑い ともに学び ともに生きる  
－みんなで、陽だまりの笑顔！－

### (I) 令和6年度浄心中学校努力点設定の理由

#### 令和5年度の成果

令和5年度は、上記努力点の設定2年目として「笑顔で学ぶ」をキーワードに、生徒の「主体性」を高め「笑顔」を引き出すことを重視して実践を行った。「主体性」を高める実践として、生徒会活動を中心に校則の改定を行った。また、校内フリースクールを設置し、教室に入れない生徒が自分のペースで学ぶことができるようにした。

学校評価の結果（「**そう思う**」「**どちらかといえばそう思う**」の回答結果）

- ・ 生徒アンケート
  - ㊦ 笑顔で学校生活を過ごせている→【97%】
  - ㊧ 学校生活が楽しい→【95%】
  - ㊨ 行事に積極的に参加している→【95%】
- ・ 保護者アンケート
  - ㊩ 子どもは行事に積極的に参加している→【95%】
- ・ 教職員アンケート
  - ㊪ 行事を通して生徒の自尊感情や主体性を高める工夫をしている→【95%】

上記の結果から、生徒の「主体性」を高め、「笑顔」を引き出す令和5年度の取り組みは、一定の成果があったといえる。

#### 令和5年度の課題

学校努力点に関する学校評価アンケートの結果、次のような回答を得た。

学校評価の結果（「**そう思わない**」「**どちらかといえばそう思わない**」の回答結果）

- ・ 生徒アンケート
  - ㊫ 先生に相談しやすい→【21%】
- ・ 保護者アンケート
  - ㊬ 学校が安心・安全で幸せな居場所になっている→【13%】
  - ㊭ 学校は生徒の主体性を尊重し、考える力を高められるよう努めている→【18%】
  - ㊮ 学校は、保護者の願いにこたえようと努めている→【19%】
- ・ 教職員アンケート
  - ㊯ 教育活動を通して、生徒は自分のよさに気付いている←【15%】

特に、㊫について、生徒が「笑顔」で学校生活を送るうえで改善すべき点だと考える。

努力点に関する教職員の意見として、下記のようなものがあり、生徒の「主体性」を高めながら、自他を尊重し、互いに「笑顔」で学校生活を送ることができるよう、指導を継続する必要性がうかがえる。

努力点に関する教職員の意見（育てたい生徒像、力）

- ・ 主体的にいろいろな活動をするうえで、自分の気持ちを優先するのではなく、自分の気持ちを優先しながらも、他者を思いやることのできる生徒を育てたい。

#### 令和6年度浄心中学校努力点のねらい

以上の点から、令和6年度も、生徒の「主体性」を育む実践を続ける。その中で、自他の個性を認め、その価値について肯定的に捉えられるよう支援し、互いの「笑顔」を大切にすることができるようにする。

### (2) 重点を置く活動

令和6年度は「ナゴヤ学びのコンパス」策定1年目であり、生徒が「笑顔」で「自律」して学び続けられるよう、「個別最適な学び」「協働的な学び」「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指さなければならない。また、ブロック小学校と連携し、一貫した教育活動の実施も求められている。

そこで、令和6年度も令和5年度に引き続き、【笑顔で学ぶ】という活動に重点を置いて実践を行う。生徒も、保護者も、教職員も一緒になって【笑顔で学ぶ】ことで「陽だまり」のように温かい浄心中学校を目指す。

#### ① 探究的な学習を中心として「笑顔で学ぶ」総合的な学習の時間

ブロック小学校と連携し、総合的な学習の時間に探究的な学習活動を行う。次に示す4つの活動を探究的な学習と定義し、各学年で授業を実践する。ブロック小学校でも同様の探究的な学習を行うことで、小中一貫した体系的な指導を実施する。

＜探究的な学習過程＞

①見つける→②調べる→③解決する→④まとめる

#### ② 教室に入れない生徒が「笑顔で学ぶ」校内フリースクールの運営

様々な理由で教室に入れない生徒が、校内の教室以外の居場所で学ぶことで、将来の社会的自立につながる力を伸ばせるよう、校内フリースクールを運営する。安心して学習できる環境を整え、保護者の協力を得ながら、個に応じた支援ができるようにする。

#### ③ 生徒の「主体性」を育み、「笑顔」を引き出す生活指導

令和5年度に引き続き、生徒が「主体的」に考えられるよう指導方法を工夫する。さらに、生徒自身が校則の改定に取り組むことで「主体性」を高められるようにする。